

職場内で

掲示・回覧
をお願いします!

メルマガ会員募集中

健康保険の最新情報を毎月
無料でお届けします!登録は協会けんぽホームページから行うことができます!
スマホでもOK!

協会けんぽ 秋田支部データ

令和6年4月末現在の確定値
()内は対前年同月比

事業所数	16,492社(141社)
被保険者数	192,490人(▲1,274人)
被扶養者数	99,198人(▲4,786人)
平均標準報酬月額	259,172円(4,529円)

できることからコツコツと! 健康経営®を始めませんか?

従業員様の健康を重要な経営資源ととらえ、健康増進に積極的に取り組む「健康経営®」が注目されています。

※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

事業所様が抱える課題

- ・少子高齢化による労働人口の減少
- ・メンタルヘルス不調者の増加
- ・生活習慣病の増加等による労働力の低下

健康経営で
解決

生産性の向上

- モチベーションの向上
- 欠勤率の改善
- 業務の効率向上

リスクマネジメント

- 事故や不祥事の予防
- 労災発生の予防

イメージアップ・リクルート効果

- 対内的、対外的イメージの向上
- 離職率の減少
- 求職者等からのイメージの向上



令和4年4月より

健康経営宣言のエントリー要件をリニューアルしています

厚生労働省の指針、また、秋田支部の課題である生活習慣病リスクを抑制するため、エントリー要件の内容をリニューアルしています。

認定証の差し替えは不要です。必須項目の変更を把握していただき、引き続きお取組みいただきますようお願いいたします。

お問い合わせ 企画総務グループ 018 (883) 1841

リニューアル内容

健康経営宣言の必須項目に
「特定保健指導の推進」を追加しました。
実施率「35%以上」を目標としています。



被扶養者状況リストの提出にご協力をお願いいたします

協会けんぽでは、健康保険の被扶養者が現在もその状況にあるかを確認させていただくため、毎年度資格の再確認を実施しています。本件は現況確認だけではなく保険料負担の軽減につながる大切な確認ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、詳細は協会けんぽからお送りする被扶養者状況リストをご確認ください。

発送時期 令和6年10月中

提出期限 令和6年11月29日(金)

お問い合わせ 業務グループ 018 (883) 1800



全国健康保険協会 秋田支部

協会けんぽ

Information

協会けんぽ 2023(令和5)年度決算のお知らせ

2023 年度の決算の概要

2023年度の決算は収入が11兆6,104億円、支出が11兆1,442億円、収支差は4,662億円で前年度から343億円の増加となりました。収入・支出の主な内訳は以下のとおりです。

【収入】 保険料収入は2,577億円増加。賃金の増加が主な要因。

【支出】 保険給付費は1,993億円増加。加入者1人当たり医療給付費が増加したことが主な要因。

高齢者医療への拠出金等は1,358億円増加。団塊の世代が後期高齢者になることにより拠出金額が増加したことが主な要因。

2023年度の収支は、収入・支出ともに前年度より増加しましたが、主たる収入である「保険料収入+国庫補助等」は2,995億円増加した一方、主たる支出である「保険給付費+拠出金等」は3,351億円増加しており、**支出の方が収入よりも伸びています。そのため、収支差は実質的には前年度より縮小していることに留意が必要です。**

その他の支出について、前年度に交付された国庫補助等の精算等による国への返還が生じなかったことにより、2023年度は前年度と比較して支出が683億円抑制されています。そのため、最終的には、収支差は、名目上、前年度より増加しています。

※詳しくは、協会けんぽのホームページをご覧ください。

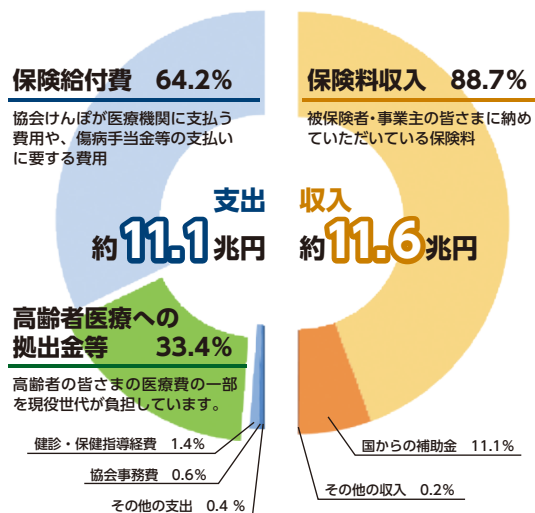
■2023年度決算 | 医療分

(単位：億円)

収入	保険料収入	102,998 (+2,577)
	国庫補助等	12,874 (+418)
	その他	233 (+16)
	計	116,104 (+3,011)
支出	保険給付費	71,512 (+1,993)
	拠出金等	37,224 (+1,358)
	その他	2,705 (▲683)
	計	111,442 (+2,668)
単年度収支差		4,662 (+343)

※ () 内は、対前年度比

※ 支出の「その他」は右図の「健診・保健指導経費」「協会事務費」「その他の支出」の合計



Q. 2023 年度の決算は黒字額が増加しましたが、協会けんぽの財政は今後どのような見通しなのでしょうか？

A. 協会けんぽの財政は、以下の理由から楽観を許さない状況です。

- 団塊の世代が後期高齢者になることにより高齢者医療への拠出金等の短期的な急増が見込まれ、その後も中長期的に高い負担額で推移することが見込まれること。

※ 高齢者医療への拠出金等 2023年度: 2兆1,900億円 → 2025年度: 2兆5,300億円

- 協会けんぽ加入者の平均年齢上昇や医療の高度化等により保険給付費の継続的な増加が見込まれること。

※ 保険給付費 2023年度: 7兆1,512億円 → 2028年度: 7兆6,600億円

こうした状況を踏まえ、協会は、将来を見据えて、加入者の健康づくりに向けた取組を進めつつ、保険財政の持続可能性という観点から、各種医療費適正化対策にも取り組んでまいります。